

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 <市議団控室☎047-436-3030 FAX047-420-7201>
 ----- 市 会 議 員 -----
 岩井友子 ☎438-8647 坂井洋介 ☎404-2039
 金沢和子 ☎422-5278 松崎さち ☎432-9317
 神子そよ子 ☎769-7271



6月議会が始まります

5月23日から6月24日までの33日間の日程で、令和4（2022）年第2回定例会が開会します。市長からは、補正予算案をはじめ加される予定です。

日本共産党は、まもなく実施される参議院選挙（6月22日公示、7月10日投票予定）にむけて、住民の暮らしと中小企業を守るための「消費税減税を求める意見書」、「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」、また「敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有の検討を撤回することを求める意見書」の、3つの発議案を提案しました。

- 丸付の数字は、質問の順番です(例:神子議員③の質疑は3番目)
- 日本共産党の議員の質問日程は、下記、ご参照ください。

月日(曜)	開議時刻	会議別	主な議事
5月23日(月)	10時	本会議	・市長から議案の提案説明 ・議員から発議案の提案説明 神子議員、松崎議員、岩井議員
30日(月)	10時～	本会議	・議案質疑 岩井友子議員
31日(火)	10時～	本会議	・発議案質疑の答弁者 神子議員、松崎議員、岩井議員
6月1日(水)	10時～	本会議	・一般質問
2日(木)	10時～	本会議	・一般質問 神子そよ子議員④
3日(金)	10時～	本会議	・一般質問 松崎さち議員②
6日(月)	10時～	本会議	・一般質問 坂井洋介議員②
7日(火)	10時～	本会議	・一般質問 金沢和子議員④
9日(木)	未定	総務委員会	金沢和子議員
		予算決算分科会	
10日(金)	未定	健康福祉委員会	岩井友子議員
		予算決算分科会	
13日(月)	未定	市民環境経済委員会	神子そよ子議員
		予算決算分科会	
14日(火)	未定	建設委員会	松崎さち議員
		予算決算分科会	
15日(水)	未定	文教委員会	坂井洋介議員
		予算決算分科会	
20日(月)	未定	予算決算委員会全体会	・質疑 岩井友子議員
24日(金)	10時～	本会議	・議案の採決 ・報告に対する質疑(予定) ・閉会

暮らしを守れる市政実現のために、力を尽くします。日本共産党議員の質疑日程は表の通りです。ぜひ傍聴にお越し下さい。

県が助け舟を出して「転田」

海老川上流地区開発による治水への影響シミュレーション

あまりの無責任さに県都計審が異例の付帯意見

船橋市は5月13日の市議会建設委員会で、「海老川上流地区土地区画整理事業による海老川流域の治水への影響」のシミュレーションが遅れており、5月の住民説明会では結果を発表できないと報告しました。事業予定地は船橋市の洪水・内水ハザードマップでは最大3mの浸水想定区域です。対策として宅盤のかさ上げをするため、45万㎡の盛土が行われる予定です。しかし海老川下流部の本町・宮本などには最大5mの浸水想定区域があり、盛土が治水対策に悪影響を与える恐れがあります。

千葉県「船橋都市計画マスタープラン」では、「海老川沿いの水田は、これらの区域が市街化した場合、溢水や湛水の災害発生が予想され、かつ、下流の既成市街地への影響も著しいものがある」とあります。今回の事業予定地42・3haは6割が農地で、海老川、飯山満川などに挟まれた低平地で、まさに懸念が示された場所です。開発地の市街化区域への編入を決定した1月18日の千葉県都市計画審議会では、治水問題が議論の中心となりました。市が水害シミュレーションをしていないことに批判が相次ぎ、審議会が開発に許可を出す一方、「治水への影響に関する検討を続け、住民に対し御理解いただけるよう、丁寧な説明を重ねること」と意見を付けました。そのため、市はシミュレーションを実施しています。

しかし県は、海老川調節池の暫定整備を早めるよう「努める」としているだけで、暫定整備が行われる確証はありません。実施がいつになるのかわからない事業を前提にしたシミュレーションを行っても、安全は確保されません。

また市は4月5日、土地区画整理組合に「治水への影響を検証し、結果を住民に説明してから施行することが重要だ。本事業の工事は、説明会開催後に着手してほしい」と依頼文を出しましたが、未だ回答を得ていません（5月13日現在）。区画整理事業費の6割を市が負担するにも関わらず、市はあまりに無責任です。市民の命と財産を守る行政に転換すべきです。

甘いシミュレーションで工事が始まる恐れ

船橋市はシミュレーションの遅れについて、千葉県から「海老川調節池の暫定整備を早期に行うよう努める。また海老川下流部分の河床掘削をする。シミュレーションの前提条件も、それらを含めてやり直しを」と意見があったことを理由にしました。これを受けて市は、シミュレーションの業務委託の発注をし直します。